

あしたへ生きる



2010.12
第31集

なかがわまち
那珂川町

いじめって、子どもだけ？

食卓を囲んでいる時、ケンちゃんはパパにたずねました。

ケン「いじめって、子どもだけ？」

パパ「えっ、どうしたんだい？ケンちゃんいじめられてるのかい？」

ケン「ううん、違うよ。学校では先生たちが『いじめをなくしましょう。』ってよく言うし、ママやパパだって『いじめはだめだよ。』って言うでしょう？いじめって子どもたちだけの問題なのかなって思ったからだよ。」



幸せに暮らしたい。子どもも、高齢者も、高齢者も、障がいのある人も、ない人も、みんながそう願っています。

では、なぜいじめは起こるのでしょうか？それは、お互いが人格をもったひとりの人間であるということを認めあっていないからです。いじめは人の命にかかわる重大な問題です。

ケンちゃんは「いじめは子どもだけじゃない。」と気づきはじめています。

ケンちゃんの家族はどんな話をしているのか見てみましょう。



もくじ

高齢者へのいじめ	3~4P
障がい者へのいじめ	5~6P
恋人へのいじめ(デートDV)	7~8P
子どもへのいじめ(児童虐待)	9~10P
那珂川町の取り組み	11P
人権カレンダー	12P
詩「それがにんげん」	13P
「人権の木」	14P

けんちゃんの家族紹介



けんちゃん



けんちゃん
の
ママ



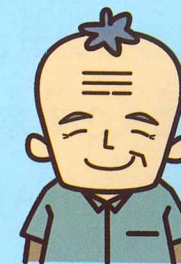
けんちゃん
の
パパ



けんちゃん
の
お姉ちゃん



けんちゃん
の
おばあちゃん



けんちゃん
の
おじいちゃん

高齢者へのいじめ

おじいちゃん「老人クラブに来ていた一郎さん。最近なんだか落ち込んで
いるんだよ。そういえば、『家族と一緒にの食事が無い。』とも
言っていたな。」

パパ「それは心配だな。食事だけではなく他のことでも、問題がな
ければいいんだけど…」

ケン「ひとりでご飯を食べるのはさびしいよ。それにおいしくないし。」

ママ「そうよね。ご飯はできるだけみんなそろって食べたいわね。」

ケン「おじいちゃん、それって仲間はずれみたいでいじめになる
んじゃないの。」

おじいちゃん「そうだな。おじいちゃんがみんなと一緒にご飯が食べられ
ないなんてことになったら、ケンちゃんと言うとおりさび
しいな。」

パパ「あれだけ元気で笑いの絶えない人が、落ち込むとは心配だな
あ。父さん、今度一郎さんに会ったら、なにがあったのか聞いた
ほうがいいよ。」

おじいちゃん「うん、そうしよう。
閉じこもりになったら大変だからね。」

おばあちゃんや
おじいちゃんを
大切にしよう!



「最近なんだか…」

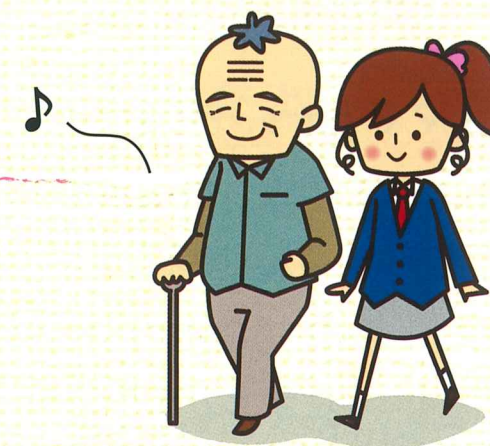
見守りが必要

高齢者が閉じこもりなどにならないためには、

家族や地域の見守りが必要です。

そのためには、次のことを心がけましょう。

朝晩のあいさつをしましょう。
積極的に声かけをしましょう。
高齢者を交え一家団らの時間をもちましょう。
食事や外出は、家族みんなでしましょう。
地域の行事にも積極的に参加するように働きかけましょう。



nakayoshi

人は誰でも……

人は誰でも、年齢を重ねて生きています。高齢になるにつれだんだんと動作も遅
くなり、物忘れも増えます。でもおじいちゃん、おばあちゃんは、パパやママを生

んで、育ててくれた、大切な人です。

いま、けんちゃんとお姉ちゃんがこの世に存在
するのも、おじいちゃん、おばあちゃんがいて
くれたおかげです。年齢を重ねて生きていくこ
とに、共感を持ち、家族の大切な一人として、い
つまでも、家庭の真ん中においてほしいですね。



しょう しゃ 障がい者へのいじめ

ママ「あっ、そう言えば、今日デパートのエレベーターに乗ったとき車イスの人がいたの覚えてる？」

ケン「うん、覚えてるよ。その人が乗るまでずいぶん時間がかかったから、しばらくエレベーターが止まってたもん。」

ママ「そうね、車イスだから移動するのも大変だし、エレベーターは狭いからその分時間もかかるよね。ケンちゃんはその時、どう思った？」

ケン「早くしてくれないかなと思った。周りの人もそんな感じだったよ。」

ママ「そうね、ママも、あの時エレベーターの中の雰囲気が変わったような気がした。それはね、みんなの心の中に隠れていた障がいのある人への気持ちが表情や態度に出たんだと思うな。車イスの人も冷たい空気を感じたはずよ。もし、ケンちゃんが車イスの人だったらどう思う？」

ケン「うーん…『悲しいなー。』って思う。」

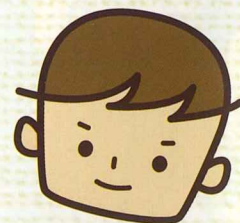
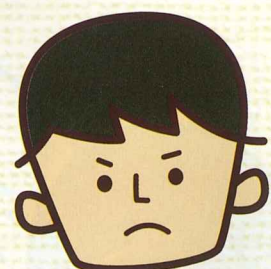
ママ「そうよね。それって障がいのある人にとってはいじめだと思わない？」

ケン「そうか。僕、あの時早くレストランに行きたかったから、『早くしてくれないかな。』って思った。でも、それはいじめていることと同じなんだね。」

ママ「そうね。相手の立場にたって、考えたり、行動したりすることが大切だね。」



心のバリアをなくそう！



エレベーターの中の空気が変わった？

しょう ひと ちゅうしゃ しょう 障がいのある人のための駐車場だよ

パパ 駐車場に車イスのサインが描かれているだろう。

障がいのある人の駐車スペースなんだ。

幅も広いし、入口に近いところにあるだろう。

これも障がいのある人が乗り降りしやすいように、そうしてあるんだよ。



二人ともルールは守れるわね！

ゆう どう よう しょう と じ てん しゃ 誘導用ブロック上に停めた自転車

歩道の上に凹凸のある黄色いブロックが交差点の方に伸びているのに、気がついたことはありませんか。これは

誘導用ブロックといって、目の不自由な人へ「ここを

歩いてください。安全ですよ。」というサインです。ところが、その上に、自転車が止められていたり、物が置かれたりしていると、目に障がいのある人は安全に行き先にたどり着くことができません。たとえ自分は必要としていなくても、それを必要とする人の立場に立って行動することが大切です。ケンちゃんの家族のよ

うに話し合いをしながら理解を深めていけば、誘導用ブロックに自転車を止めるといった自分勝手な行動もなくなるのではないのでしょうか。障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が安心して地域の中で暮らして

いける社会をみんなで作っていきましょう。



恋人へのいじめ (デートDV)

ケン「この前、お姉ちゃんが家に帰ってきたとき、とっても怒ってたね。携帯がどうのこうのって。」

姉「そう、本当に頭にきちゃう。人の携帯勝手に見て！思い出したらまた頭にきちゃった。」

ママ「携帯がどうかしたの。」

姉「ねえ、ママ聞いて。彼ったら、私の携帯を勝手にさわって、メールを読んだのよ。『返して。』って言ったら、『携帯見たぐらい、いいじゃないか。そんなに怒るほどのことでもないだろう。』って逆に彼から怒られたのよ。」

パパ「それはいけないな。パパだってママの携帯電話は見たことないよ。」

姉「でしょう？だから私、彼に言ったの。『それって嫌がらせよ。デートDVになるんだよ。』って。」

ケン「デートDV？それっていじめと同じことなの？」

ママ「ケンちゃんの言うとおりのいじめになるのよ。お姉ちゃんが嫌がっているのに、お姉ちゃんの彼氏が携帯電話を見たんでしょう？例えばけんちゃんが嫌だっと思うことを友達から無理やりされたらどう？それもけんちゃんより大きくて力が強い友達だったら？」

ケン「意地悪されてるって思う。『やめて』って言えないかも。」

パパ「お姉ちゃん、その後はどうなんだい？まだ見られているのかい？」

姉「うん。それ1回だけで、そのあとはないよ。彼もきつと悪いことだと気づいてくれたんじゃないかしら。」

恋人にこんなことされたらデートDV(ドメスティック・バイオレンス)!

なぐる、ける、髪をひっぱる、タバコの火をおしつける

おどす、ののしる、無視する、性的暴力

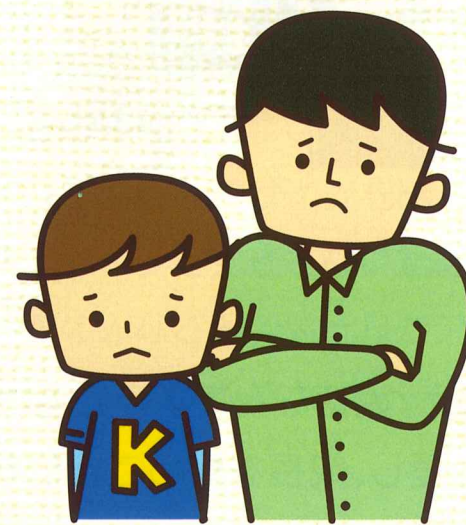
友達と会わせない、メールや電話をチェックする、外出のとき後をつける

こんなことを恋人から、常時受けているひとがいたら
デートDV(ドメスティック・バイオレンス)の被害者です。



携帯見たぐらい、いいじゃないか

デートDV(ドメスティック・バイオレンス)ってなに？



デートDVは、恋人間で生じる暴力のことです。ドメスティック・バイオレンスは、夫婦関係等にある暴力のことですが、デートDVはドメスティック・バイオレンスと同じ構図を持っており、力をふるう理由も原因も同じです。被害者は主に若い女性です。なぐる、けるなどの身体的暴力以外にも、精神的な暴力や性的な暴力などさまざまです。相手を暴力によって支配しようと

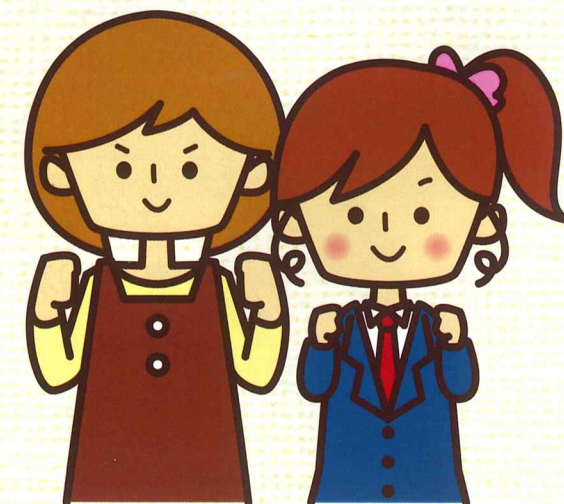
するもので、原因の根っこに女性差別があります。

加害者の多くは、罪の意識がうすく、被害者も「愛してくれているから」と黙っているケースが少なくありません。結婚したあとも、DVが続く可能性があります。

被害に心当たりがあったなら？

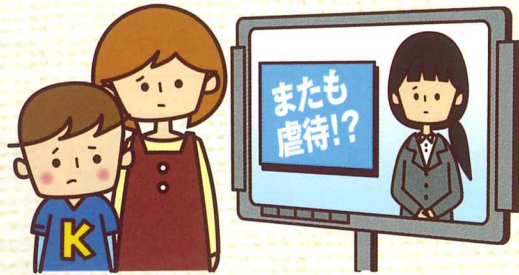
親、先生、友達や下記相談機関に相談してみましよう。一人で問題を抱え込み、悩んでいると、ますますつらく苦しくなってしまいます。誰かに相談してみることで、一人では気づくことができなかった解決方法が見つかることがよくあります。

- 福岡県女性相談所
TEL092-711-9874
- 福岡県配偶者からの暴力相談電話
(夜間・休日)
TEL092-716-0424
- 福岡県筑紫保健福祉環境事務所
TEL092-584-0052



子どもへのいじめ (児童虐待)

ケン「ママ、パパ！テレビ見て。子どもが洗濯機に入れられて、ぐるぐる回されたんだって。どうしてそんなことするのか？かわいそうすぎるよ。」



ママ「本当に心が痛むわね……。」

おばあちゃん「昔とは変わってしまったのかねえ。虐待なんて言葉はなかった気がするんだけど。わが子を愛し、成長を願うことは親として当たり前なことなのに……。」

ケン「僕、虐待って聞いたことある。よくニュースで言ってるよ。やっぱりこれも、いじめでしょう？」

パパ「そうだね。いじめと同じだよ。それも一番身近で、愛して欲しいお父さんやお母さんからいじめられるんだから、その子はどんなに悲しくて苦しくて、辛かったか……。いいかい、ケンちゃん。もし、クラスの中にいつもと様子が違ったり、ケガをしたりしている子がいたら、先生に言うんだよ。」

ケン「うん、わかった。みんなのことちゃんと見るよ。」

加害者の言い分



子どもへの虐待が他人に知られたら、親は「いうことを聞かないから。しつけるためにやった」「教育の一環」などと言いつつ、食事をさせない、医者にも診せようとし、むしろ親として養育義務を放棄したことになります。また、子どもの人格形成にも悪い影響を与え、その子の将来に不安を残しかねません。

よくニュースで言ってるよ……

地域で子どもたちを見守ろう

児童虐待は家庭の中でおきるため、まわりのみんなが、よほど注意をして見ていないと、見過ごされてしまいます。でも、虐待を受けている子どもは、きっと何らかのサインを出しているはずですよ。

そのサインを見逃さないためには、学校や医療機関あるいは地域のみなさんの見守りが欠かせません。深刻な事態になる前に早期に発見することが重要です。



子どもの虐待の通告義務

子どもの虐待を発見したり、虐待かなと思った場合は、勇気をもって次のところに届けましょう。



虐待の判断は届けをうけた機関が判断します。通告した人が責任を問われることはありません。虐待防止のために、ご近所の方のご協力をお願いします。(児童福祉法第25条及び児童虐待の防止等に関する法律第6条)



● 那珂川町子育て支援課
TEL092-953-2211

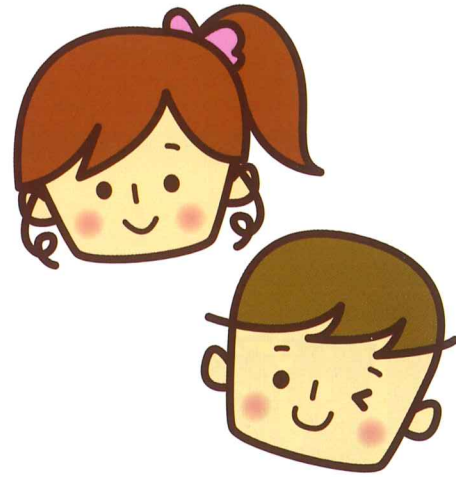
● 福岡県筑紫保健福祉環境事務所
TEL092-584-0052

● 福岡児童相談所
TEL092-586-0023

● 民生委員・児童委員
役場福祉課にお問い合わせください

那珂川町の取り組み

町では、人権問題の解決に向けて「すべてのひとの人権を大切にすまちづくり」をめざして取り組みを進めています。今後も町民の皆さまをはじめ、地域、各種団体、事業者と行政との協働のもと、人権を大切にす豊かなまちづくりの実現に向けて、全町的に取り組んでまいります。



すべてのひとの人権を大切にすまちづくり

人権意識を育む

人権意識を高揚する

実態的差別を解決する

那珂川町人権教育・啓発基本方針

町では、偏見や差別をなくし、人権問題を自らの問題として考えられるような人権意識の高揚を図り、「すべてのひとの人権を大切にすまちづくり」を実現するために、様々な人権問題に関する「那珂川町人権教育・啓発基本方針」を2009(平成21)年3月に策定しました。

- 同和問題
- 高齢者に関する問題
- 子どもに関する問題
- 女性に関する問題
- 障がい者に関する問題
- 外国人に関する問題
- HIV感染者などに関する問題
- 様々な人権問題

基本方針の柱

すべての差別をなくす施策の推進

地域における豊かな人間関係づくりの活性化の推進

住民と行政が協働で取り組む人権教育・啓発の推進

人権カレンダー

みなさんも、研修会や行事などに参加しましょう!



5月

恵子児童館子どもまつり

人権を大切にす子どもを育てるために、子どもの健全育成を支援する団体等で実行委員会を組織し、開催しています。



とき 毎年5月第4土曜日

ところ 恵子児童館、町民体育館、福岡県立福岡学園

7月

同和問題啓発強調月間 同和問題講演会

福岡県・各市町村では、毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定めて、部落差別をなくす運動を展開しています。講演会はこの強調月間の一環として、全町民を対象に開催しています。

とき 毎年7月の土曜日

ところ ミリカローデン那珂川

駅やスーパーなどで街頭啓発を行うほか、研修会、同和問題講演会、啓発冊子の発行を通じて、「すべてのひとの人権を大切にすまちづくり」をすすめています。



7月~

各区公民館人権問題研修会

11月

人権・同和問題啓発戸別訪問

町職員が全世帯を訪問して、同和問題をはじめあらゆる人権問題について意見交換します。10年計画で実施しているもので、差別のない人権を尊重するまちづくりについて理解を深めていただいています。今年が最終年となりました。

12月

人権週間 人権フェスタなかがわ

世界人権宣言にちなみ、法務省と全国人権擁護委員連合会は、4日~10日を入権週間と定め、人権尊重のための啓発活動を全国的に展開しています。那珂川町では「人権フェスタなかがわ」を開催します。

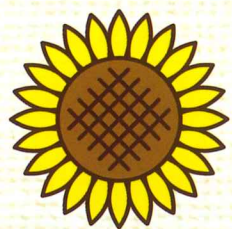
とき 毎年12月の入権週間中の日曜日

ところ ミリカローデン那珂川



人権劇やコンサート、人権作品展示、バザー、クイズラリーなど催しがたくさんあるよ。





それがにんげん

こんのとしひこ

しあわせ いっぱい

生きていきたい

自分の のぞむ

しごとに つきたい

みんなのために

なにかをしたい

あいする人と

むすばりたい

にんげんらしく

くらしたい

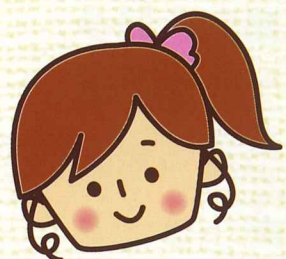
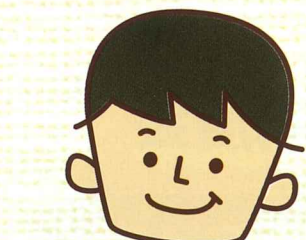
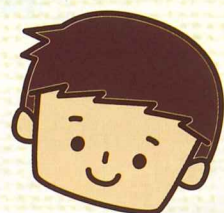
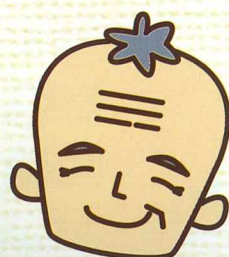
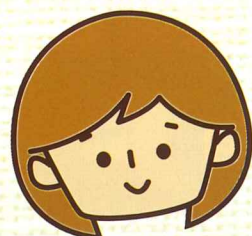
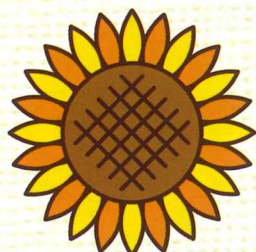
こうしたねがいが

かなうこと

こうしたねがいが

じゃまされないこと

それがにんげん



参考文献「人権読本・じんけんの詩」(今野敏彦編著 明石書店)



人権の木

町内の小学生全員が、木の葉などの形にした紙に自分の思いを書いて、それを貼りあわせ、完成したものが「人権の木」です。那珂川町に人権を大切にする心がしっかりと根を張り、大きな木となり、そしてたくさんの葉が繁り、実が実るようにという子どもたちの願いが込められています。人権の木は、毎年恵子児童館子どもまつりのときに町民体育館のアリーナに展示しています。



人権問題に関する相談窓口

子どもに関すること

- 子どもの人権110番……………0120-007-110
- 那珂川町子育て支援課……………092-953-2211
- 那珂川町保健センター……………092-953-2211
- 那珂川町教育委員会学校教育課……………092-953-2211
- 福岡児童相談所……………092-586-0023

女性に関すること

- ちくし女性ホットライン……………092-513-7335
- 福岡県男女共同参画センターあすばる相談室……………092-584-1266
- 那珂川町人権政策課……………092-953-2211

高齢者・障がい者に関すること

- 福岡県障害者110番……………092-584-6110
- 福岡県社会福祉協議会高齢者総合相談事業……………092-584-3344
- 那珂川町高齢者支援課(高齢者福祉サービス・介護保険)……………092-953-2211
- 那珂川町地域包括支援センター(高齢者総合相談窓口)……………092-953-2211
- 那珂川町福祉課……………092-953-2211

同和問題に関すること

- (財)福岡県人権啓発情報センター……………092-584-1270
- 那珂川町人権政策課……………092-953-2211
- 那珂川町教育委員会社会教育課……………092-952-2092

人権問題・人権全般に関すること

- 福岡法務局筑紫支局……………092-922-2881
- (財)福岡県人権啓発情報センター……………092-584-1270
- 那珂川町人権政策課……………092-953-2211



あしたへ生きる 第31集

発行: 那珂川町
編集: 那珂川町同和問題等啓発資料編集委員会
印刷: 大成印刷株式会社

この冊子は再生紙を
使用しています。